

第1学年 技術・家庭科（家庭分野） 令和4年度 年間指導計画・評価規準・評価計画						
月	指導計画		評価規準			評価方法
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
4	〈A. 家族・家庭生活〉 ・家庭分野ガイダンス ・今の自分とこれまで	1			○家庭分野の学習について、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・発言 ・授業態度 ・作品（製作過程を含む）
5 6 7 9	〈B. 衣食住の生活〉 1 目的に応じた衣服の選択 ・衣服で伝わるメッセージ ・自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化 ・上手な衣服の選択 2 日常着の手入れと保管 ・布の繊維に応じた手入れと洗濯 ・補修や収納・保管 ・持続可能な衣生活をめざして	16	○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・ワークシート ・レポート ・定期考査
11	〈B. 衣食住の生活〉 1 食事の役割と食習慣 ・食事の役割 ・健康によい食習慣	3	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。	○自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現などして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
12	〈B. 衣食住の生活〉 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 ・中学生の発達と必要な栄養 ・栄養素のはたらきと6つの食品群 ・一日分の献立	4	○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	○中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
1 2 3	〈B. 衣食住の生活〉 4 日常食の調理 ・調理の計画 ・おいしさと調理 ・野菜の調理 5 地域の食文化	11	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ○地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

	・地域の食文化 ・郷土料理作り					
--	--------------------	--	--	--	--	--